



2008年2月18日
日本コカ・コーラ株式会社
東日本旅客鉄道株式会社

コカ・コーラ自販機の「Suica」対応について合意

日本コカ・コーラ株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:ダニエル・H・セイヤー、以下:コカ・コーラ)と東日本旅客鉄道株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:清野智、以下:JR 東日本)は、コカ・コーラが展開する自販機の「Suica」対応に関して2009年より搭載することで合意いたしました。

コカ・コーラとしては、決済手段が広がることで自販機の利便性が向上し利用者の増加を見込めるとともに、JR 東日本としては、Suicaのさらなる普及促進とお客さまの利便性向上が期待できます。

1. コカ・コーラ自販機での電子マネー「Suica」の展開

コカ・コーラは2002年から独自の電子マネー自販機を展開してまいりました。2007年からは複数電子マネー対応自販機(以下、コカ・コーラ マルチマネー機)を導入し、2007年末までに全国で約3万台を設置しています。両社は2008年末までにSuica対応に向けた開発を完了し、2009年第一四半期(1~3月)よりこれらのコカ・コーラ マルチマネー機に「Suica 決済機能」を搭載いたします。また、コカ・コーラ マルチマネー機とは別に、新たにSuica 決済が可能なマルチリーダ・ライタを共同開発し、これを搭載した自販機の設置も進めてまいります。

JR 東日本の営業エリア内で順次対応を開始し、コカ・コーラの市場展開力とSuicaの利便性による相乗効果で、2009年末までに3万台以上の導入を目指します。また、2010年以降も継続的な導入を実施してまいります。

2. 利用拡大に向けたプロモーションの実施

コカ・コーラ マルチマネー機等の「Suica」対応について、広くお客さまにお伝えしていくことを目的に、両社の媒体を活かしたプロモーションを共同で実施してまいります。具体的には、JR 東日本の交通媒体(車内の中吊り広告や駅の広告など)とコカ・コーラ自販機の媒体機能(POP、ポスター及び液晶画面など)を効率的に組み合わせた斬新なプロモーションを行うことで、「Suica」対応について、さまざまな機会において訴求してまいります。

3. コカ・コーラ自販機向けマルチリーダー・ライタの共同開発

本合意をふまえ、コカ・コーラのもつキャッシュレス自販機の運用ノウハウと JR 東日本のもつ開発力を融合し、新たにコカ・コーラ自販機向けマルチリーダー・ライタを共同で開発いたします。このリーダー・ライタは、株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモと JR 東日本が設立した、共通インフラ運営有限責任事業組合が提供する共通インフラの仕組みを活用します。

* 「コカ・コーラ」、「Coca-Cola」は、The Coca-Cola Company の登録商標です。

* 「Suica」は、東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。

【「Suica」の概要】 2008年1月末現在

- ・ Suica の発行枚数: 約 2,340 万枚 (うち電子マネー対応: 約 2,017 万枚)
- ・ Suica 利用可能店舗数: 約 28,410 店舗
- ・ 1 日あたりの利用件数(最高値): 約 88 万件 (PASMO・ICOCA を含む)